

21世紀を豊かに生きるための

科学技術の智

第2回シンポジウム



【開催趣旨】

21世紀の日本が、ほんとうの意味で生き生きとした豊かな社会となり、国際的にも貢献できるためには、科学技術とうまくつき合える素養を一人でも多くの方が身につける必要があります。そのような目標を実現するために、プロジェクト「科学技術の智」が、文部科学省科学技術振興調整費の助成を受けて一昨年にスタートしました。

この間、日本学術会議を中心に150名あまりのメンバーにより、日本人の大人が身につけておくべき科学技術の基礎的な知識や考え方（科学技術リテラシー）を7つの専門部会——数理科学専門部会、生命科学専門部会、物質科学専門部会、情報学専門部会、宇宙・地球・環境科学専門部会、社会科学・人間科学専門部会、技術専門部会——ごとに討議し、7つの専門部会報告書がまとまりました。また、それらの報告書を踏まえた全体報告書の骨子もまとまりました。

本シンポジウムでは、その内容を報告すると同時に、科学技術リテラシー一定着に向けて今後の運動をどう展開していけばよいかについて話し合います。多方面の方々にご参加いただき、活発な議論をしていただくことを期待しています。

主催 日本学術会議 科学力増進分科会、国際基督教大学21世紀COEプログラム

共催 文部科学省 国立教育政策研究所

平成20年 3月19日(水) pm.1:00~5:00

日本学術会議講堂(交通：地下鉄東京メトロ 千代田線乃木坂駅から徒歩2分)

科学技術の智プロジェクト <http://www.science-for-all.jp/>



参加申込方法

参加費無料

必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)をご記入の上、E-mailもしくはFaxにて以下の担当宛、お申し込みください。
国際基督教大学理学科物理学教室 担当 菅根朋子 E-mail: tsone@icu.ac.jp Fax: 0422-33-1449

「21世紀を豊かに生きるための科学技術の智」

プログラム

総合司会

室伏 きみ子 (科学技術の智プロジェクト副委員長、日本学術会議科学力増進分科会委員、日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学教授)

13:00～13:10 開会あいさつ

毛利 衛 (日本学術会議科学力増進分科会委員長、科学技術の智プロジェクト評議会委員、日本学術会議会員、日本科学未来館館長)

13:10～14:10 特別講演

1) 「社会認識に関するリテラシー：制度の生成と設計」 鈴木 興太郎 (日本学術会議副会長、一橋大学特任教授)

2) 「物語と科学、これからの10年への希望」 瀬名 秀明 (作家、東北大学機械系特任教授)

14:10～14:50 「科学技術の智」プロジェクトの報告

北原 和夫 (科学技術の智プロジェクト委員長、日本学術会議科学力増進分科会委員、日本学術会議連携会員、国際基督教大学教授)

14:50～15:10 休憩

15:10～16:50 パネル討論 定着に向けて

パネリスト：

内田 麻理香 (東京大学工学部特任教員)

小川 義和 (国立科学博物館学習課長)

佐々 義子 (NPO法人くらしとバイオプラザ21 主任研究員)

滝川 洋二 (NPO法人ガリレオ工房理事長、東京大学客員教授)

室山 哲也 (NHK解説委員)

司会 渡辺 政隆 (科学技術政策研究所上席研究官)

16:50～17:00 閉会あいさつ

有馬 朗人 (科学技術の智プロジェクト評議会議長、日本学術会議連携会員、日本科学技術振興財団会長・科学技術館館長、武蔵学園長)

17:00 閉会